

品川・生活者ネットワーク

NEWS no.116

●発行/品川・生活者ネットワーク ●発行責任者/吉田ゆみこ
●〒140-8715 品川区広町2-1-36 ●TEL03-5742-6862
●FAX03-5751-7106 ●発行日 2019年8月1日
●E-mail shinagawa@seikatsusha.net



品川・生活者ネットワーク区議会議員
吉田ゆみこ

品川・生活者ネットワーク幹事長 ●建設委員会 ●オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 ●消防団運営委員会 ●土地開発公社評議員 ●議会改革推進会議 ●議会だより広報会議
<http://yoshidayumiko.seikatsusha.me>



品川・生活者ネットワーク区議会議員
田中さやか

品川・生活者ネットワーク政調会長 ●総務委員会 ●廃棄物減量等推進審議会 ●議会改革ICT推進会議
<http://tanakasayaka.seikatsusha.me>

区議会REPORT

市民の議席を維持！ 田中さやか・吉田ゆみこ 2期目の活動をスタート

2019年区議会議員選挙後5月の臨時議会を経て、議長・副議長、新しい委員会構成が決まりました。改選後、初の本会議となる品川区議会第2回定例議会では、支えあい分かちあう地域共生社会のしくみづくりをめざして吉田ゆみこが一般質問に臨みました。



品川・生活者ネットワークを代表して一般質問する吉田ゆみこ
2019年6月28日

超少子高齢社会を見据え、それまで公的なサービスで支えてきた福祉を地域全体で担う「地域包括ケア」という考え方が打ち出され、今日に至っています。

そこで一般質問では、介護保険事業を含む高齢者、障がい児・者、地域福祉のそれぞれに関する品川区の諸計画の中から、地域の支援のしくみづくりを取り上げました。

さらに厳しい障がい児者の「相談から支援」

品川区は地域包括ケアセンターの基幹センターを区の高齢者福祉課に置き、13の在宅介護支援センターがそのプラランチとされていて、高齢者施策の基幹としています。

ポイント：相談から支援につながるしくみづくり

諸計画では、「地域包括ケアの第一歩は相談から支援につながるしくみ」としています。身近な相談窓口として、13の地域センターに「支え愛・ほっとステーション」が設置され、生活支援コーディネーターが2人ずつ配置されています。しかし「的確な相談」につながるか否かはその人の力量に負う

ヤングケアラーへのまなごしは無いのか？

国の第7期介護保険事業には介護者支援の必要性が謳われましたが、品川区の計画でも記述はあるものの具体性はなく、とくにヤングケアラーの問題にはまったく触れられていません。ヤングケアラーといわれる子ども・若者は、どこに助けを求めたらよいかわからない場合が多く、実態把握、顕在化には教育委員会と区との連携が欠かせません。

答弁に立った福祉部長からは、第8期計画策定のための調査を今年度行う予定であり、その中にヤングケアラーの調査も検討する、との言質を取り付けました。先行事例として、教育委員会の協力で実施した藤沢市の調査では、高齢者介護を担うのは高校生以上が多く、小・中学生は障がいのある兄弟のケアや精神疾患の親の見守りで学校に行けない事例が多いそうです。子ども・若者の実態把握には、やはり教育委員会との連携が必須です。

真の「地域包括ケアシステム」

の実現には、高齢者、障がい児・者、子ども・若者に関わる所管が当り、NPO法人ちばMDエネット（千葉県船橋市）が運営する障がい者の就労の場「コミュニティカフェひなたほろ」を視察。理事長の山田晴子さんと。



事者として横断的に関わる必要があり、調査計画を一から練り直すよう求めました。

改選後の議会を傍聴して

改選後初めての定例会議を傍聴しました。4年に1度行われる区議会議員選挙。私たちの生活に直接つながる「政治」の場。区議会に、区民の代理として、自分の一票を投じた議員は、どんな考えをもってどんな発言をするのか。投票で終わりにせず議場で直接見る、聞く、が政治参加の一つになると私は考えます。

品川区の本会議はインターネットでも生中継されており、ネット環境があればどこにいても傍聴が可能です。議会を通して身近に政治を感じてほしいです。

品川・生活者ネットワーク
事務局長 八木裕子

品川区予算への、あなたの「ひとつと提案」を募っています

生活者ネットワークは身近な生活の困りごとや地域課題を聞き取り、区政への政策要望として「市民からの提案」にまとめ区長に届けています。

子どもを安心して産み育てたい、人にやさしい政策に税金は充ててほしい、障がいの有無で分けない学びの場や就労の場を実現して……等々皆さまのご意見をなんでも品川・生活者ネットワークにお寄せください。また市民要望は調査・研究を経て、田中さやか、吉田ゆみこの質疑にも反映します。
FAX 03-5751-7106
shinagawa@seikatsusha.net